

「山下小学校の山下三尺棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

阿久根市立山下小学校

2 学 年

4～6年生（計29人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

平成29年7月～9月 夏休み期間中の毎週火・金曜日（本校中庭）

その他、披露に併せて随時

(2) 発表の日時・場所

平成29年9月16日（土）校区敬老会（本校体育館）（台風のため中止）

平成29年10月1日（日）秋季大運動会（本校校庭）

平成29年11月18日（土）県PTA研究大会阿久根大会（市総合体育館）

平成29年11月19日（日）校区文化祭「山下の風まつり」（本校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

山下三尺棒踊り（やましたさんじゃくぼうおどり）

(2) 由来

江戸時代、外様大名であった薩摩藩が強兵策の一つとして、農民を訓練するために奨励した棒踊りが各地に伝播され、それが山下の地にも伝わったものと言われている。

(3) 構成等

6人1組で普通18人から24人（6人の倍数）が3列縦隊で踊る。踊り手は全員三尺棒を使って踊る。歌い手は3人から5人である。

頭に白のはちまきをし、黒のかすりを黒の兵児帯で締めて着て、赤のたすきを腰まで垂らし、着物の裾は両腰に吊り上げて着る。足は黒足袋にわらじを履く。堅木の三尺棒を腰に差す。

5 保存会や地域との連携の具体

「山下三尺棒踊り」は戦後途絶えていたが、昔から継承してきた伝統ある三尺棒踊りを保存しようとして、昭和49年に地域の有志により「山下三尺棒踊り保存会」が結成され、復活に努め、地域の行事等で披露され親しまれる存在となっている。その後、本校児童にも体験させようと、平成3年から保存会の指導と協力のもと継承活動が始まった。学校教育活動・PTA活動の一環として、また地域の活性化活動として、小学生の継承活動を進めている。

6 文化財伝承・活用の取組で工夫した点

夏休みを中心に週2回、夕方2時間程度、棒踊りの練習をしている。練習は保存会の会員が仕事終了後学校に集まり手ほどきをする。

山下三尺棒踊りは、校区敬老会、秋季大運動会、校区文化祭で必ず披露し、子どもの意識も高めている。また、市の産業祭等のイベントへの出演依頼もあり、子どもたちも楽しみにしている。

毎年、山下三尺棒踊りの継承についての話合いの場もち、保護者への啓発活動も行い、積極的な協力をお願いした。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

「さあ、さあ、さっ。」

みんなで声を合わせて、今年も三尺棒踊りの練習が始まりました。ぼくの通う山下小学校では、山下地区に昔から伝わる伝統芸能「山下三尺棒踊り」を4年生から取り組んでいます。

4年生の夏休み、練習が始まる日がとても楽しみで、ワクワクしながら待っていました。地域に住む三尺棒踊りのお師匠さんは、若い人もいれば、何十年も踊りを踊ってきたベテランの人もいます。

「おお、できるねえ。上手だよ。」

お師匠さんは、ぼくの踊りを見て、ほめてくれました。不安な気持ちは、どこかにとんで行きました。心の中が、ワクワクでいっぱいになったしゅん間でした。

カン、カン、カン。友達とおどりを合わせたとき、それまで聞いたことのない、ぼうが当たる音がひびきました。心地のいい音。「あっ、周りに合わせられるようになってる。上達してるんだ。」ぼくは、自分の成長に気付きました。

もうすぐ本番の敬老会があります。母や地域の方に、ぼくの心を込めた踊りを見てもらいたいです。そして、練習を続けて、大人になってもお師匠さんたちのように、山下に伝わる「山下三尺棒踊り」をぼくの子どもにも伝えていきたいです。

「さあ、さあ、さっ。」

ぼくは、みんなに負けない声で、今日も練習をがんばります。